
落ち込んでいる人を励ますためのDBZ小説！

生時(レジェンド)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

落ち込んでいる人を励ますためのDBZ小説！

【Nコード】

N2097H

【作者名】

レジエント
生時

【あらすじ】

今回はブログで、病気の友人を励ますために書いた「ドラゴンボール」の2次創作（？）です！もしもブロリー親子が生きていたら

……

（前書き）

DBの2次創作ですが、バトルシーンはないです！

この物語を読む前に、ドラゴンボールのブロリーが出てくる映画を観てください！

今回の作品は、病気で落ち込んでいた友達を励ますために、ブログでこの作品を載せましたところ、友人から評判がよかったので、こちらに投稿しました。（ブログとは内容が少し異なります）
これを読んで、落ち込んでいる方が、元気になってくださると作者として、書いてよかったと思います！

この物語は、ドラゴンボールの二次創作（？）です。
もしも、ブロリー（知らない人はDBの映画見てください）親子が地球で生活したら……

ナレーション

かつて、惑星ベジータがフリーザの手によって、滅ぼされる前に、この世に生を受けた赤ん坊が二人いた……

一人はカカロットと名づけられ、もう一人はブロリーと名づけられた。

カカロットはフリーザがベジータ星を滅ぼす寸前に、地球へ向かっていたため助かった。

ブロリーとその父パラガスは、ブロリーの強い戦闘力が邪魔になったベジータ王によって殺され、ごみのように捨てられた。

だが、二人は生きていた。
そして、二人はベジータ星が滅んだあとも、ブロリーの強力な力で、生き延びたのであった。

それから30年後……

伝説の超サイヤ人ブロリーと正義の超サイヤ人孫悟空カカロットが戦い、ブロリーは敗北し倒されたと思われていたが、ブロリーは生きていた。さらに自らの子供ブロリーに殺されたパラガスも一命を取り止めた。

生き延びたパラガスは、これからは地球に移住し、自分とブロリーがサイヤ人であることを捨て、孫悟空やベジータのように、美人の地球人をお嫁さんに……じゃなかった。

孫悟空やベジータのように穏やかに生きようと決意したのだ。

パラガス

「せっかく、私が心を入れ替えたのに、息子のブロリーは相変わらずだ。私は、かつて使っていた、ブロリーを自在に操るコントロール装置の2号を作ってもらったが、予算の都合上、たまに操れなくなるコントロールになってしまった。私はなんとしても、ブロリーを一人前の地球人に育てなければ、私の老後が心配だ」

ブロリー

「親父……今日はどこに行くんだ？」

パラガス

「今日は、映画館のアルバイトの面接だ（すでにブロリーは26個も面接を受けている……頼むから今度は受かってくれ）」

ブロリー

「一人用のポットでか？」

パラガス

「あ、あまり恥ずかしい事を言っなよ」

その時、

後ろからパラガス親子に話しかけてきたものがいた。
カカロット

孫悟空とベジータだ。

孫悟空

「よっ！二人で何してんだ？」

パラガス

「カカロット……いや、孫悟空！」

ベジータ

「貴様ら、まだ生きていたのか？」

ブロリー

「カカロット！」

パラガス

「やめろ！ブロリー！」

パラガスは必死で、たまに操れなくなるコントロールでブロリーを大人しくした。

パラガス

「今から、映画館へ面接に行くところだ」

孫悟空

「おっ、奇遇だな、オラも面接ちゅうつそつき大会に行くところだ。結構難しくて、オラもう、59個も落ちてんだ。ハハッ！」

パラガス

「（さすがは、カカロット……ブロリーよりも落ちていたか……）」

孫悟空

「今日はブルマに頼まれて、ベジータも連れて行くんだ。オラたち
ロリコンとか言う……」

ベジータ

「馬鹿が！ロリコンじゃなくパソコンだ！」

孫悟空

「そう、それぞれ、そのパソコンのニコニコ何とかちゅうのに、オ
ラたちの映像があるらしんだけど、コメントに、ニートだとか、ヘ
タレ王子とか書かれてるらしくって……」

ベジータ

「誰が、ヘタレ王子だ！そんなコメントを書いたヤツ！征伐してや
る！」

孫悟空

「そう書かれない為に、面接に行くんだろう」

ベジータ

「フン！ふざけるな！この俺様が面接だと……いいか！サイヤ人は
星を占領するのが仕事だ！」

孫悟空

「でも、もうフリーザとは縁を切ったんだし、これからは、地球人
らしい仕事しようぜ！」

ベジータ
「フン！」

某映画館……

店長

「今日は3人か」

社員 A

「はい」

店長

「早速、一人ずつ呼んでくれ」

社員 A

「はい！ではベジータさん！中へどうぞ」

ベジータ

「フン！やはり俺がナンバーワンのようだなカカロット」（何のナンバーワンなんだよby生時）

店長

「かけたまえ……ってもう座ってるし……まず、履歴書を出して」

ベジータは、「フン」といいながら、履歴書を出した。用意したのは、もちろんブルマである。

店長

「えー、お名前が、ベジータさん……あれ、学歴がないのかな？前は何のお仕事をしてたかな？」

ベジータ

「星を占領するのが俺たちサイヤ人の仕事だ！」

店長

「???えゝ、ごゝご趣味は？」

ベジータ

「戦闘だ！」

店長

「せんとぅ……銭湯に行くことかな!?えゝ、うちは、映画館ですが、好きな映画とがありますか？」

ベジータ

「くだらん！」

店長

「降らん……そんなタイトルの映画は始めて聞きました。今度DV Dであつたら見てみます」

ベジータ

「おい!もういいか?」

店長

「あ、はい、今日はこれで……あの結果は後日お電話しますので」

「フン」といって、ベジータは外に出た。

孫悟空

「どうだった？ベジータ」

ベジータ

「俺に出来ない事などない！」

社員A

「孫悟空さん！どうぞ」

孫悟空

「待ってました」

店長

「かけてください」

孫悟空

「ん？何を賭ければいいんだ？オラ、賭け事知らね〜ぞ」

店長

「……あ、まあ、お座りください（今日は変なヤツばかりだな）え〜、お名前が、孫悟空さんですね」

孫悟空

「ああ、じゃなくて、はい」（昨日チチに徹夜で面接の練習させられた悟空by生時）

店長

「あら、孫さんも学歴がないですね」

孫悟空

「かくれ木ってなんだ？」

店長

「はは、なかなかユニークなお人で……前のお仕事は？」

孫悟空

「亀仙人のじつちゃんところで、牛乳配達や、畑の仕事で修行してたぞ」

店長

「おじさんのところで、牛乳配達などの仕事をしていた……そうですね。では、好きな映画はありますか？」

孫悟空

「えーと、確かチチが……」

悟空の心の中のチチ

「悟空さ、好きな映画は、タイタニックですと答えるだ」

孫悟空

「ああ、思い出した！たい焼きくんだ！」

店長

「（たいやきくん……およげ！たい焼きくんなら歌で知っているが）そ、そうですか。ではご趣味は？」

孫悟空

「強いヤツと戦う事、じゃなかった……あつ、読書とスポーツだ！」

店長

「スポーツは何かなさっていますか？」

孫悟空

「オラ、小さい時からじっちゃんに武道を教わった」

店長

「武道ですか。どうりで、いい体をしているわけだ。はい、じゃあ、結果は後日連絡します」

「はは」と笑いながら、孫悟空は外に出た。

社員 A

「次、ブロリーさん！」

パラガスがドアをノックしようとしたら、

「んんん！カカロット！」

といいながらドアを破壊して中に入っていった。

パラガス

「お、落ち着け、ブロリー」

パラガスはまた、たまに操れないコントロール（略してタコ）でブロリーをおとなくさせた。

そしてパラガスは、自分が書いた履歴書を渡した。

店長

「えゝ、お名前が……」

ブロリー

「ブロリーです」

店長

「あつ、ブローリーさんですね。どうぞお座りください」

ブローリー

「はい」

店長

「えゝ、お父さんは今日ご一緒で？」

パラガス

「実は息子は、日本に来て間もないもので、その通訳のために……」

店長

「そうですね……えゝ、履歴書には、出身地が惑星ベジータと書かれています、どこですか？」

パラガス

「（しまった！）あ、ベジータではなく、ベリーズです。中央アメリカの……書き間違えです」

店長

「ああ、そうですね。では趣味は？」

とその時、外で悟空の笑い声が聞こえた。

パラガス

「あいつらまだいたのか」

ブローリー

「カカロット！血祭りにあげてやる」

店長

「えっ？」

パラガス

「えゝ、む、息子は祭りが大好きなんです。私どもの国では、人参祭りが盛んでして……」

店長

「は、はあゝ、では、好きな映画は？」

ブロリー

「俺は悪魔だ！フハハハ」

パラガス

「お、落ち着け……スイマセン、緊張しているようで、悪魔抜いの映画……エクソシストが好きだそうです（落ち着けブロリーこのままでは今回もおしまいだ）」

それから数日後……

孫悟空とブロリーは見事に合格した（そんな馬鹿なb y生時）

カプセルコーポレーション……

ブルマ

「ベジータ、アンタだけ落ちたのね」

ベジータ

「フン、サイヤ人は星を占領するのが仕事だ！」

果たして、ブロリーと孫悟空は、真面目に映画館でバイトが出来るのだろうか……

(後書き)

ブログよかったらどうぞ！

Yahoo!で生時と検索すれば出てきます！

りさ先生、うさぎや先生、いつもご訪問ありがとうございます^^

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2097h/>

落ち込んでいる人を励ますためのDBZ小説！

2010年10月8日22時46分発行